

経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	80.91	101.33	1,485	

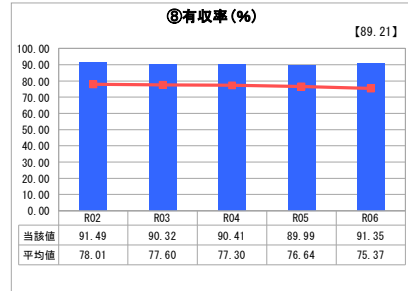
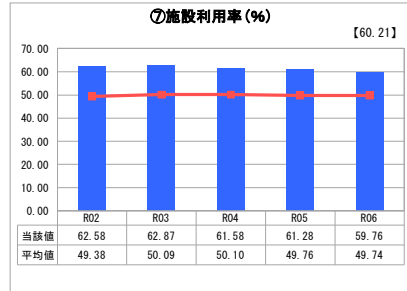
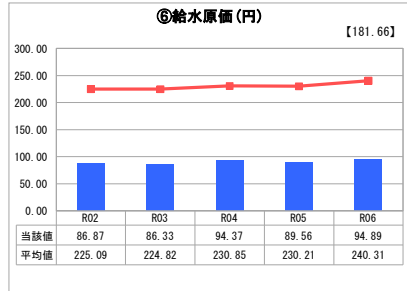
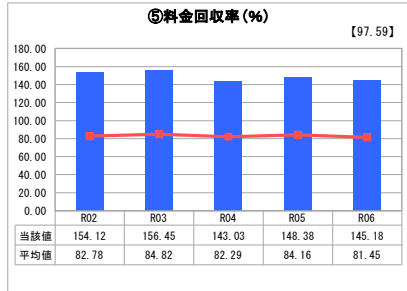
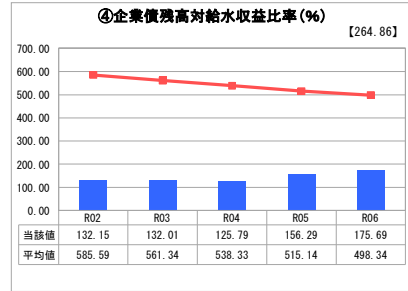
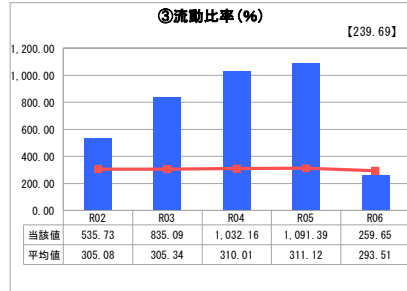
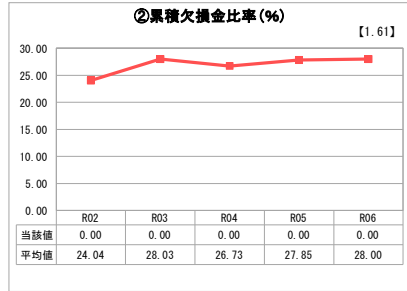
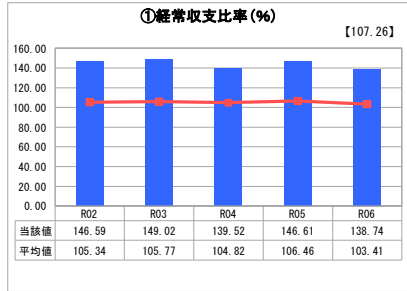
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,901	19.99	445.27
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,978	20.21	444.24

グラフ凡例

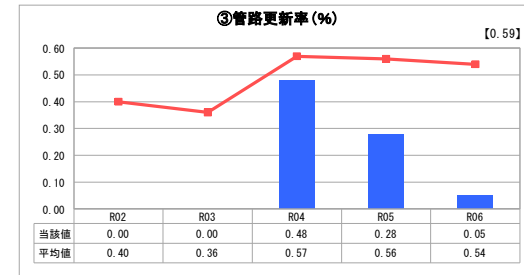
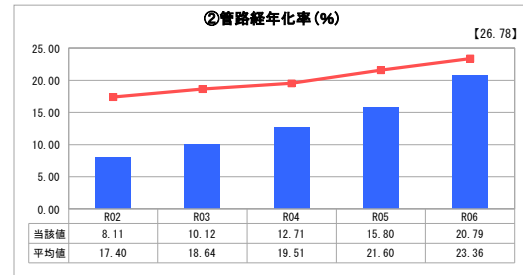
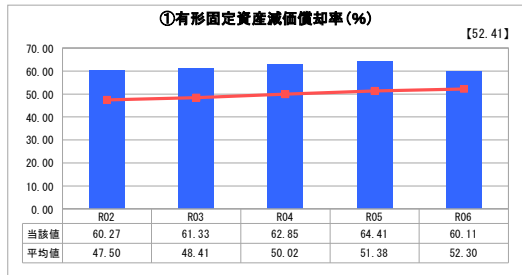
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%以上で平均値を超えており、累積欠損比率は0%、料金回収率も100%を超えており、流動比率についても前年より大きく減少してはいますが、これは年度をまたいだ工事の支払いに起因するもので、値も200%を超えていることから、健全な経営状態です。企業債残高対給水収益比率については、平均を下回った状態ではありますが、施設の老朽化が進んでいることから、今後増加することが見込まれます。

給水原価は、地下水を水源としており、大規模な浄水施設が不要であることから、平均値を大きく下回っておりますが、業務用の給水収益の比率が高く、大口使用者の業績に影響を受けやすい不安定な状況です。

施設利用率は平均を超えており、有収率も90%を超えていることから、効率的に適正な運営が行われている状態です。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産原価償却率は平均値と比べて高く、管路経年化率も年々増加傾向であることに對して、管路更新率が低い状況であることから、平準化も踏まえた計画的な更新を実施していく必要があります。

全体総括

現状健全な経営状況を保っておりますが、施設の老朽化が進んでいることや耐震化が不十分であることから、計画的に設備の更新を進めていく必要があります。それらの工事にかかる多額の費用を見据えて料金改定等財源の確保に努める必要があります。

また、運営にあたっては、専門的な事務や技術の継承、若い世代の人材育成などが課題となっております。今後検討していく必要があります。